

目標および成果指標の設定 記入様式

活動団体名： 一般社団法人 隠岐ユネスコ世界ジオパーク推進協議会

上位関連計画にみる地域の将来
 ○地球温暖化対策推進法や政府の目標：2013年度比で2030年までに46%削減、2050年までにカーボンニュートラル達成
 ○第5次エネルギー基本計画における、2030年に実現を目指す再エネの電源構成比率：22～24%、2030年に実現を目指す実質エネルギー効率（最終エネルギー消費量/実質GDP）35%減。
 ○現在の人口：19,122人（2020年）、将来：18,000人以上（2030年）
 ○地域の総合計画に示された将来目標（市町村内総生産） 現状：70,955百万円（2018年）→目標：70,955百万円（2030年）
 ○地域の環境分野の上位計画の将来目標 住民が地質多様性、生物多様性、文化多様性の価値を理解し継承する。

②具体的な取組
 ・観光地域づくり法人「隠岐ジオパーク推進機構」が地域のコーディネータ役となり、観光振興、環境保全、教育振興の事業を隠岐全体で計画的に展開する。
 ・推進機構、行政、教育委員会、教育機関、公民館が連携し、ジオパークを活用したふるさと教育の充実により誇りと愛情を持って隠岐を伝える人を増やし地域資源の保全保護に取り組む。
 ・推進機構、観光協会、宿泊事業者、ガイド団体が連携し、魅力ある観光地づくりを行うことによって他産業への経済波及を向上させる。

③短期目標

分野	小項目	成果指標	現状値	目標値 (2021年度末)	実績値 (2021年度末)	単位
環境	地質遺産の保全	ジオサイトの数	74	74	74	箇所
	その他自然遺産の保全	固有種の絶滅危惧指定状況	2	2	2	種
	有形文化遺産の保全	文化サイトの数	24	24	24	箇所
	無形文化遺産の保全	無形文化財の件数	25	25	25	件
	景観の保全	海岸漂着物量	960	960	—	kg/m
経済	観光による地域への経済波及	観光滞在泊数	59,000	70,000	48,000	人・泊
	観光による地域への経済波及	平均滞在泊数	1.5	1.6	1.5	泊
	観光による地域への経済波及	来島者数	39,383	53,400	25,145	人
	観光による地域への経済波及	外国人旅行来島者数	1,133	1,600	25	人
	観光による地域への経済波及	観光客の島内平均消費額	45,189	46,000	44,550	円
社会	ジオパークを活用した学校教育の充実	ジオパークについての学習意欲（中学生）	57	60	57	%
	ジオパークを活用した学校教育の充実	ジオパークについての学習意欲（高校生）	44	50	44	%
	地域住民の生涯学習の充実	保全・保護活動への参加経験	65	67		%
	地域住民以外の生涯学習の充実	宿泊研修施設における宿泊者数	360	380	360	人

注釈：保全保護活動への参加経験については現在アンケート調査中。

⑤短期指標が長期目標にどのように関わるのかお書きください

隠岐地域においては、ジオパークの理念に基づき観光による持続可能な地域社会の発展に貢献するために（一社）隠岐ユネスコ世界ジオパーク推進協議会と隠岐4島の観光を統括する隠岐観光協会が令和4年4月1日に合併し観光地域づくり法人（一社）隠岐ジオパーク推進機構を設立することとしている。令和3年度に新組織の運営計画である「隠岐ジオパーク推進機構基本構想」の骨子版を作成するとともに、基本構想を実現するために各ステークホルダーがどの分野でどのような連携を行い事業を推進するのを見える化したマンダラ図を作成した。また、基本計画の策定にあたり、隠岐地域の目指すべき姿を「住み続けられる島」「誇りと思える島」「挑戦・成長できる島」「世界とつながる島」の4つのキーワードで表現したが、このキーワードを実現するためには、「環境」「経済」「社会」が相互に高まり三方よしとなることによって「住んでよし」「訪れてよし」「働いてよし」の隠岐の実現につながると考えている。なお、記載した成果指標及び数値は令和3年度に策定した基本構想に沿って設定したものであり、隠岐4島での「環境」「経済」「社会」の3項目を網羅した初めてのものである。短期目標数値については新型コロナウイルスの影響を考慮して設定していない項目があるが、短期指標を達成するための事業を計画的に、また、隠岐全体で一体的に実施することによって長期目標数値を達成することができ、目指すべき隠岐の姿を実現することができると考えている。

※環境・経済・社会がどのように関係し合い、相互に高まっていくのか具体的にお書きください

①ありたい未来
【住み続けられる島】
 ・SDGsの推進によって地域資源の保全・保護活動が推進している。
 ・地域産品のブランディングと地域内調達率の向上による世帯収入の増加と雇用機会の創出を図る。
【誇りと思える島】
 ・ジオパークを活用したふるさと教育の充実により、誇りと愛情を持って隠岐を伝える人が増加するとともにU・Iターン者の増加を図る。
 ・学校教育や社会教育におけるふるさと教育の充実により、祭りや伝統文化などの継承と保存活動の推進を図る。
【挑戦・成長できる島】
 ・隠岐モデルの構築によるビジネスプランの創出を図る。
 ・関係者の連携による新規事業者などの受け入れと事業機会の創出を図る。
【世界とつながる島】
 ・インバウンドの受け入れ体制を充実し、世界中から訪れる島となる。
 ・ジオパークネットワークを活用し、海外との交流事業が盛んに行われている。
 ・隠岐がリーダーとなってユネスコ世界ジオパーク事業の向上を図る。

④長期目標

分野	小項目	成果指標	現状値	目標値 (2021年度末)	目標年度 2030-2050年度	目標値	単位
環境	地質遺産の保全	ジオサイトの数	74	74	2030年度	74	箇所
	その他自然遺産の保全	固有種の絶滅危惧指定状況	2	2	2030年度	2	種
	有形文化遺産の保全	文化サイトの数	24	24	2030年度	24	箇所
	無形文化遺産の保全	無形文化財の件数	25	25	2030年度	25	件
	景観の保全	海岸漂着物量	960	—	2030年度	915	kg/m
経済	観光による地域への経済波及	観光滞在泊数	59,000	70,000	2030年度	95,000	人・泊
	観光による地域への経済波及	平均滞在泊数	1.5	1.6	2030年度	2.0	泊
	観光による地域への経済波及	来島者数	39,383	53,400	2030年度	50,000.0	人
	観光による地域への経済波及	外国人旅行来島者数	1,133	1,600	2030年度	5,000	人
	観光による地域への経済波及	観光客の島内平均消費額	45,189	46,000	2030年度	53,000	円
社会	ジオパークを活用した学校教育の充実	ジオパークについての学習意欲	57	60	2030年度	70	%
	ジオパークを活用した学校教育の充実	ジオパークについての学習意欲	44	50	2030年度	60	%
	地域住民の生涯学習の充実	保全・保護活動への参加経験	65	67	2030年度	80	%
	地域住民以外の生涯学習の充実	宿泊研修施設における宿泊者数	360	380	2030年度	450	人